

事業コード	0040403	政策コード	03	政策名	新時代を勝ち抜く攻めの農林水産戦略																																																			
事業名	肉用牛経営緊急支援対策事業	施策コード	04	施策名	農林水産物の高付加価値化と国内外への展開強化																																																			
		指標コード	04	施策目標(指標)名	GAP等による安全・安心対策の強化と環境保全型農業の推進																																																			
部局名	農林水産部	課室名	畜産振興課	班名	調整・畜政・経済班	(tel)	1806	担当課長名	畠山英男	担当者名	佐藤琢哉																																													
評 価 対 象 事 業 の 内 容																																																								
<p>1-1. 事業実施の背景(施策目標の達成のためになぜこの事業が必要であったのか) 放射性物質により汚染された稲わらが流通し、それを給与した肥育牛からも放射性物質が検出されたことにより、国産牛肉に対する消費者の信頼が揺らぎ、枝肉価格が大暴落するなど、本県の畜産業にも大きな影響を与えている。</p>																																																								
<p>1-2. 外部環境の変化及び事業推進上又は完了後に明らかになった問題点 令和2年3月末まで、29,319頭の検査を行い、全頭が食品衛生法上の基準に合致し、安全性は確認されていることに加え、全国各都道府県で行われていた牛肉全頭検査が、令和2年3月末で終了したことから、本県においても令和2年3月31日をもって検査を終了することとした。このため、令和2年度予算は執行しなかった。</p>																																																								
<p>2. 住民満足度の状況(事業終了後に把握したもの) 満足度を把握した対象 受益者 一般県民 (時期 : R02年 10月) 満足度の把握方法 アンケート調査 各種委員会及び審議会 ヒアリング インターネット その他の手法 (具体的に 関係機関・生産者組織に対する聞き取り等) 満足度の状況 放射能検査の終了による、県産牛肉の安全性に対する不安は聞かれなかった。</p>																																																								
<p>3. 事業目的(どういう状態にしたかったのか) 県産牛肉の全頭検査を実施し、その安全性を担保するとともに、飼料価格や肥育素牛価格の高止まりにより厳しい状況に置かれている肉用牛経営を支援する。</p>																																																								
<p>4. 目的達成のための方法 事業の実施主体 県 事業の対象者・団体 県内肉用牛経営 達成のための手段 県産牛肉の全頭検査</p>																																																								
<p>5. 前回評価における指摘事項等</p> <p>指摘事項 これまで本事業での牛肉の全頭検査により、安全・安心な畜産物供給に寄与することができた。(全国的に見直しを行い、牛肉の全頭検査は令和元年度末で終了)</p> <p>指摘事項への対応</p>																																																								
<p>6. 事業の内容 事業概要及び推進状況 県内でと畜される県産牛全頭の放射性物質検査を実施</p>																																																								
単位(千円)																																																								
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">事業費等</th> <th style="text-align: center;">内 訳</th> <th style="text-align: center;">当初計画事業費</th> <th style="text-align: center;">最終事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2"></td> <td>県産牛肉の安全確保対策事業</td> <td style="text-align: right;">134,985</td> <td style="text-align: right;">119,574</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td></td> <td style="text-align: right;">0</td> <td style="text-align: right;">0</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td></td> <td style="text-align: right;">0</td> <td style="text-align: right;">0</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td></td> <td style="text-align: right;">0</td> <td style="text-align: right;">0</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td style="text-align: center;">事業費計</td> <td style="text-align: right;">134,985</td> <td style="text-align: right;">119,574</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">財 源 内 訳</td> <td></td> <td>国庫補助金</td> <td style="text-align: right;">0</td> <td style="text-align: right;">0</td> </tr> <tr> <td></td> <td>県 債</td> <td style="text-align: right;">0</td> <td style="text-align: right;">0</td> </tr> <tr> <td></td> <td>そ の 他</td> <td style="text-align: right;">0</td> <td style="text-align: right;">0</td> </tr> <tr> <td></td> <td>一 般 財 源</td> <td style="text-align: right;">134,985</td> <td style="text-align: right;">119,574</td> </tr> </tbody> </table>										事業費等		内 訳	当初計画事業費	最終事業費			県産牛肉の安全確保対策事業	134,985	119,574				0	0				0	0				0	0			事業費計	134,985	119,574	財 源 内 訳		国庫補助金	0	0		県 債	0	0		そ の 他	0	0		一 般 財 源	134,985	119,574
事業費等		内 訳	当初計画事業費	最終事業費																																																				
		県産牛肉の安全確保対策事業	134,985	119,574																																																				
			0	0																																																				
			0	0																																																				
			0	0																																																				
		事業費計	134,985	119,574																																																				
財 源 内 訳		国庫補助金	0	0																																																				
		県 債	0	0																																																				
		そ の 他	0	0																																																				
		一 般 財 源	134,985	119,574																																																				
<p>当初計画及び最終の事業費比較</p> <p style="text-align: right;">最終事業費 / 当初計画事業費 =(0.89)</p>																																																								

7. 事業の効果及び課題の改善状況										所管課の評価				評価結果
県産牛全頭の放射性物質検査を行い、安全性を確認したことにより、県産牛肉に対する消費者の不安が解消し、枝肉価格も回復することができた。										住民満足度の状況 a b c				
8. 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み										【b又はcの場合の分析】				
指標	指標名	放射性物質検査実施率							指標の種類	事業の効果 適用の可否 可 不可				B
	指標式	放射性物質検査実施頭数 / と畜頭数							成果指標 業績指標	a 達成率100%以上 b 達成率80%以上100%未満 c 達成率80%未満				
	年度別の目標値（見込まれる効果） 低減目標指標 該当 非該当										【b又はcの場合の理由】			
	指標	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	01年度	02年度	全体					
	目標a	100	100	100	100	100	100	0	100					
実績b	100	100	100	100	100	100	0	100						
b / a	100%	100%	100%	100%	100%	100%		0%						
データ等の出典	実績による													
把握する時期 当該年度中 03月 翌年度 月 翌々年度 月														
指標	指標名								指標の種類	事業の経済性の妥当性 適用の可否 可 不可				評価結果
	指標式								成果指標 業績指標	a 1.0~ b 0.8~1.0 c ~0.8				
	年度別の目標値（見込まれる効果） 低減目標指標 該当 非該当										$\left[\frac{\text{事業終了後の効果}}{\text{最終事業費}} \right] / \left[\frac{\text{当初計画時の効果}}{\text{当初計画事業費}} \right] =$			
	指標	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	01年度	02年度	全体					
	目標a	0	0	0	0	0	0	0	0					
実績b	0	0	0	0	0	0	0	0						
a / b								0%						
データ等の出典										【評価への適用不可、又はb、cの場合の理由】 必要経費を精査し、事業費の縮減に努めた。				
把握する時期 当該年度中 月 翌年度 月 翌々年度 月														
指標を設定することができなかった場合の効果の把握方法										A (妥当性が高い) B (概ね妥当である) C (妥当性が低い)				
指標を設定することが出来なかった理由										これまで本事業での牛肉の全頭検査により、安全・安心な畜産物供給に寄与することができた。また全国各都道府県と足並みを揃え、令和元年度末で一斉終了することができた。				
成果(見込まれる効果)										総合評価				
										評価結果の類似事業への反映状況等(対応方針)				
										政策評価委員会意見				

終了事業事後評価判定点検表

(様式5-1)

(1) 各評価項目の判定基準

観点	評価項目	判定基準	配点	1次	2次	評価結果	
ア有効性	一 住民満足度等の状況	a 住民満足度等を的確に把握しており、満足度も高い	2	2		A:有効性は高い (4点) B:有効性はある (1~3点) C:有効性は低い (0点)	
		b 住民満足度等を把握しているが、手法が的確でない又は満足度が高くない	1				
		c 住民満足度等を把握していない	0				
	二 事業目的の達成状況	a 目標値に対する達成率が全て100%以上	2	2			
		b a、c 以外の場合	1				
		c 目標値に対する達成率のいずれかが80%未満	0				
計			4	4		A	
イ効率性	一 事業の経済性の妥当性	a 当初計画時と事業終了後の事業効果を比較した値(注)が全て1.0以上	2	1		A:効率性は高い (2点) B:効率性はある (1点) C:効率性は低い (0点)	
		b a、c 以外の場合	1				
		c 当初計画時と事業終了後の事業効果を比較した値のいずれかが0.8未満	0				
	計			2	1		B

(注) 事業経済性の算定式

$$\left(\frac{\text{事業終了後の効果} / \text{最終事業費}}{\text{当初計画時の効果} / \text{当初計画時事業費}} \right)$$

上式で、効果とは事業の効果を把握するために設定した指標の実績値をいう。なお累積の実績値を設定している場合は、前年度からの差し引きによる「単年度増加分」を実績値として用います。

(2) 総合評価の判定基準

総合評価の区分	判定基準	総合評価	
A (妥当性が高い)	全ての観点の評価結果が「A」判定の場合	B	
B (概ね妥当である)	総合評価結果が「A」又は「C」以外の場合		
C (妥当性が低い)	全ての観点の評価結果が「C」判定の場合		